

第三日目

師 範：聖徳太子が女性の推古天皇の摂政になって、政治の中心に立ったのは593年のことです。



太子はたいへん仏教のことを勉強し、信仰を深め、人々にも広めました。法隆寺を建てています。

太子が建てたころの法隆寺は雷がおちて焼けてしまったけれど、再び立て直されて、現在まで無事に残っています。

現存する木造建築では世界最古のもので、世界遺産にもなっています。

593年 聖徳太子が推古天皇の摂政になる。

この年をつくってごらん。

コン太：ぼくのお父さんは



「聖徳太子**コックさん**」

と覚えたそうです。593年を**コックさん**と読んでいます。

師 範：ストレートで短いところがよいですが、意味はまったくつながらないですね。

ペン太：ぼくは、聖徳太子が豪族の勢力争いをきらって、仏の教えを尊んでいることを考えて、こんな風にしてみました。



「豪族の戦**いくさ** 避**さ**けよと祈る太子」

593を「**いくさ**」と読みました。

師 範：なかなかのできである。